

**令和元年度 久留米広域連携中枢都市圏
ビジョン懇談会 小分科会（文化・芸術ワーキング）
議事録**

(1) 日 時： 令和元年 8 月 26 日（月） 15:30～17:00

(2) 場 所： えーるピア久留米 301、302 学習室

(3) 出席者： <ビジョン懇談会委員>4 名

新井真実委員、緒方博子委員、舩津将義委員、竹尾恵介委員

<各ワーキンググループ職員>11 名

<事務局>3 名

(4) 次第及び内容：

〔○…委員発言 ●…ワーキンググループ、事務局発言〕

1. 開会
事務局より挨拶。本日の会議の趣旨、進め方等について説明。 以下、進行は文化・芸術ワーキングリーダー。
2. 出席者紹介
3. 説明事項
テーマ「次代を担う子どもたちをはじめ、様々な世代の人々が、気軽に文化芸術に触れる機会の創出について」 配布資料をもとに説明。
4. 意見交換
○先ほど大木町のお話がありましたが、実は 7 月 21 日、大木町からバスツアーを組んでいただいて、文化センターに美術鑑賞に来ていただく予定でしたが、大雨で残念ながら中止となりました。また、11 月に開催していただくようになりましたが、この事業は、大木町の生涯学習課が担当でしょうか。
●今年度からスタートした事業で、大木町にはなかなか美術館等を鑑賞できる機会がないということから、久留米市にご協力いただき、町民の方を募集して美術館等を鑑賞するバスツアーを企画したものです。今回はコンサート開催時に寄らせていただき、久留米シティプラザにもお邪魔させていただき予定です。なかなか芸術に触れられる機会というのがないので、よろしく願いいたします。
○各市町の教育委員会との関わりを教えてください。
●久留米市でも美術館に中学一年生を連れてくる事業や芸術家派遣を実施しており、恒例的になっています。学校の方はカリキュラムが大変だと思いますので、そういうところのお話があればお願いします。
●教育委員会との関係ですが、当市の伝統文化ほんもの講座は、5 つある中学校で 2 校しか実施できていません。中学生、特に 3 年生は受験に向けてのスケジュールが決まっているようで、そのため講座は、中学 1 年生を対象としています。将来的には全中学校で実施したいと考えていますが、授業スケジュールというのがあるので、なかなか前に進まないというのが現状ではないかなと思っています。
○子どもが通っている小郡の小学校の方でも、秋の文化イベントとして、サックス奏者を招いての音楽交流会を、体育館で年に 1 回開催しています。これは学校の広報部主催で、サックス奏者

<p>も地元のプロの方です。年に1回とは言わず広げていきたいと思っています。</p>
<p>●先ほど久留米市の事業の写真等を見ていただきましたが、子供たちが本物の芸術に触れていくにつれて、段々表情が変わってくるという話をよく聞いています。芸術鑑賞や体験をすることによって、子供たちが成長していくところも見えています。本物に触れさせることは、施設の中も大切ですが、外に出ていくことによって、その機会が増やせると考えて実施しています。</p>
<p>●美術鑑賞事業としてお話をいただいております、小中学校長会でこの事業について説明いたしております。ただ、カリキュラムの関係で日程を組むのが難しい。また、大川市から久留米市まで往復で2時間、鑑賞時間を足すと半日かかることから、授業の中で組むのは難しいと考えています。部活動で利用できるのではという話もありますが、バス1台では1クラスが限界な点など、現実的には少し遠い市町においては、実施は難しいと感じています。逆にアウトリーチならやり易いのではないかと思います。美術館のワークショップなど、ぜひ大川市に来ていただいてやっていただきたいと思います。</p>
<p>●今日のテーマが圏域における連携ということでございまして、構成市町の方に久留米市の芸術家を派遣することも連携のひとつと思います。新井委員、演劇のアウトリーチもあると思いますが、何かご意見ございませんか。</p>
<p>○私は3歳と6歳の子供がいますが、ステージアートを体験させるときにすごく良いなと思うことがありました。昨年、久留米シティプラザで森山開次さんの作品を見せていただきましたが、本物の芸術に触れることはもちろん大事ですが、子供たちが気軽に自然な感覚で、芸術に触れられる機会となつてすごく良いなと思いました。子供はルールのないところで自然に感じる気持ちを持っているので、そういうところを発掘していく、もう一息、子供が気軽に芸術に触れていく形がもっと増えていくと良いなと思いました。ひとつ質問ですが、芸術コーディネーターを置かれていて、ボランティアを育成する取組みがあると聞いていますが、打ち合わせをするときにコーディネーターはどのくらいイニシアティブを持っているのでしょうか。関わりの雰囲気伺いたしたいと思います。</p>
<p>●文化芸術コーディネーターはもともと市民の方から募集し、現在5名です。新たに養成講座を開催しており、受講者は15名で、今後はこの20名の体制でやっていくこととなります。受講生は別として5名の方については、アーティストとのコネクション、学校側との調整など習熟度は上がっている方々で、アーティストと学校の間に入ってのコーディネート業務は主導的にやられています。</p>
<p>●竹尾委員にお聞きしたいのですが、久留米市ではまちかど音楽祭を開催していますが、その際に子供を対象にした楽器制作のワークショップをやっています。このようなことについて何かご意見ありますか。</p>
<p>○大川市は「木工のまち」ということもあり、木工楽器でカフォン(打楽器)を作って、団体や学童に持って行き、子供たちと一緒に演奏しています。年に何回かやっていますが、一過性のものとして終わってしまっているのが課題と思っています。なかなか回数を増やすことは難しい。やりたい方と求める方のマッチングシステムみたいなものが構築できるならば続けていけると思いますが、そうするとやりたい方の信頼性や責任感が担保できない等、アウトリーチの限界を感じています。例えば、子供たちが主体となって何かできる、しやすくする環境づくりのような取組が、参考事例としてあればお聞きしたいと思います。市が主体ではなく、市事業から独立して、団体等が継続して行うようになったというような事例はないでしょうか。</p>
<p>●コーディネーターが独自に活動していただいておりますアウトリーチ事業をやっていただくことはある</p>

<p>でしょうが、現在は行政主導でそこまでには至っていないのが現状です。</p>
<p>○ゴールデンウィークに古賀政男記念館で、子供たちを呼んで楽器体験をしてもらう企画を実施しましたが、実際来られたのは高齢者がほとんどで、盛り上がりましたが、当初の趣旨からずれてしまいました。学校への案内以外で、子供たちを呼びこむための面白い手法があれば教えてほしいと思います。</p>
<p>○ワークショップは親子参加型で、たとえば夏休みシーズンに企画すれば、親としては非常に助かると思います。私は観光協会のメンバーですが、市に何かをやりたいと申し出ても書類提出など、実施できるまでに時間がかかります。しかし、自分たちはやりたいし、小郡を盛り上げたいと思っています。そんな時、協会の理事の一人が経営している喫茶店にお願いして、空いた時間にイベントをやったりしています。親子でやるイベントで成果をあげられたら市の方に投げかけたいと思っています。</p> <p>大川市でも、親子で結び付けて何か魅力あるワークショップをやっていたらと、期待しています。</p>
<p>●これからも文化・芸術ワーキングにつきましては、いろいろ考えてやっていきたいと思っていますので、皆さんよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。</p>
<p>5. その他</p>
<p>●ビジョン懇談会全体会は秋ごろ開催予定です。</p>
<p>6. 閉会</p>